

第1回 刈谷地域リハ・ケアネットワーク作りの会(KRC.net)が開催されました

2010年6月5日(土)午後2時30分より4時まで、刈谷地域リハ・ケアネットワーク作りの会(以下、**KRC.net**と略します)の第1回勉強会を、刈谷豊田総合病院(1棟1階)リハビリ科において開催いたしました。



当日は新しい刈谷市総合文化センターにて「NHKハートフォーラム・認知症ケア最前線」が開催されておりましたが、事前に刈谷市および刈谷市近郊地域の包括介護支援センター等のご協力を得て広報させて頂いた結果、合計71名の医療・介護関連職種の皆様に参加していただきました。地域別では刈谷市35名・大府市13名・安城市10名・知立市7名・東浦町6名で、職種別では介護支援専門員47名、看護師または保健師6名、社会福祉士6名、施設管理者または責任者4名、医師・介護職員・作業療法士・理学療法士がそれぞれ2名でした。

■第1回のテーマは「オープン・KTGH・リハ」

今回はテーマを「オープン・KTGH・リハ」とし、刈谷豊田総合病院でのリハビリの現状報告と参加者相互の情報交換を目的に実施しました。予想をかなり上回る参加を頂いたため、プログラムを若干変更させて頂きました。

まず講演会では、刈谷豊田総合病院リハビリ科部長の小口医師から刈谷豊田総合病院におけるリハビリ概要の説明がありました。リハビリ科との連携方法の変更点として、当該患者さんの地域におけるサービスを担当する事業所の方がリハビリ見学を希望される場合は、

- ①本人または家人の了承を得る
- ②直接リハビリ科に連絡(電話)する
- ③担当療法士が日時調整し回答(電話)する

との流れになりました。

続いて参加者を6人ずつ12の班に分け、6つの班毎に回復期リハビリ病棟見学とグループディスカッションを交互に行ないました。グループディスカッションでは、30秒間の自己紹

介の後、**KRC.net**の活動に期待すること、リハビリに関する質問・希望など討議して頂きました。他市、他事業所の方の意見を聞くことができて良かった、などたいへん好評でした。最後はリハビリ科スタッフも参加し質疑応答を行った後、**KRC.net**のロゴマークの投票を行い終了致しました。



■「KRC.net」の活動を通じ交流を深め、医療・介護の連携をよりスムーズに！

刈谷豊田総合病院（621床）では現在、入院患者さんのうち約4割の方（240名程度）が何らかのリハビリテーションを行っています。その数は最近の3年間で約1.5倍となっており、重度の方の割合も増してきています。退院の際には地域の医療・介護関連施設・職種の方々には大変お世話になっており、以前から皆様と連携をより密にしていきたいと考えていました。今年度の診療報酬改定を機に病院の許可を得て、本会**KRC.net**を立ち上げさせて頂きました。



アンケートからは、「はじめの一步ですが大きな一步」など**KRC.net**に対する医療・介護関連施設・職種の方々の期待の大きさを感じました。第1回勉強会はリハビリ科内で内容を決定しましたが、次回以降は参加した皆様の中より企画の段階から参加して頂きたいと考えています（企画から参加したいという申し出も頂いています）。

医療・介護の連携が今まで以上にスムーズとなるよう、地域の医療・介護関連施設・職種の皆さんと共に勉強会やディスカッションなどの活動を継続して行っていく中で、交流を深めて行きたいと考えています。年間3回程度の開催を予定していますので、今後とも関連施設・関連職種の皆様には是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。